

令和 8 年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立 本木小学校 校長 井出 誠

1 学校教育目標

- ①かしこい子：自ら問いをもち、見通しをもって学び続ける子
 ②思いやりのある子：自分や友達のよさを認め合い、励まし合い、高め合える子
 ③たくましい子：夢に向かってしなやかにたくましく挑戦し続ける子

2 学校図書館3つの役割について

重点取組 (◎)	(◎) 読書センター	() 学習センター	() 情報センター
現状の課題	・児童の読書に偏りがある。 ・読解力が低い児童が多い。 ・授業時間以外での利用が少ない。	・授業活用が少ない。 ・読書での利用しかない。	・調べ学習がタブレットのみで終わってしまうため、本を使っていない。
今年度の目標	・図書館に来る児童を増やす。	・読書以外の利用の仕方を周知する。	・団体貸出等も積極的に行い、本で調べる方法も身に付ける。
重点取組	・児童が足を運びたいと思う掲示や企画を行う。	・OJT研修を行う。	・調べ学習の際に、資料収集ができることを伝える。
成果目標 (達成基準)	◎児童一人当たり50冊貸出	・図書館で過ごす授業を月2回以上行う。	・各学年1回以上、学習に関する資料収集を行う。
達成状況 (年度末に記載)			

3 図書館運営計画

	読書センター	学習センター	情報センター
日常的な取り組み	・読書時間の確保(週1回朝読書) ・各クラスに週に1回、図書館の割り当て割り当て時間を設ける。	・図書館の利用予定(時間割)を周知する。	・選書、廃棄の計画
主な行事の取り組み (図書委員会含む)	・読書旬間(年2回) ・低学年への読み聞かせ ・外掲示板の作成	・おすすめ本のPOP作成	・調べる学習コンクール参加
環境整備の取り組み	・展示や掲示の計画	・授業展開できるよう、近くの教室にホワイトボードやモニターを整備する	・調べる学習コンクールに使用できる資料を展示する。
司書・外部との連携	・図書館支援員との報連相 ・年間計画の進捗状況の把握	・授業担当者との共通理解を図る機会をつくる。	・選書、廃棄の実施

実践の評価(年度末に記載)

--

4 学校図書館を使った「調べる学習」計画(国語及び他教科)

学年・専科	内容(教科「単元名」)	結果	内容(教科「単元名」)	結果

1年	国語「どうぶつの赤ちゃん」		国語「じどう車ずかんをつくろう」	
2年	国語「図書館たんけん」		生活「めざせ生きものはかせ」	
3年	理科「わたしの研究」		国語「[じょうほう]引用するとき」	
4年	国語「新聞をつくろう」		国語「本のポップや帯をつくろう」	
5年	社会「さまざまな土地のくらし」		総合「宿泊学習、事前学習(赤城)」	
6年	国語「私と本 星空を届けたい」		総合「宿泊学習、事前学習(日光)」	
	社会「日本とつながりの深い国々のくらし」		理科「植物のからだのはたらき」	

追記および実践の評価（年度末に記載）

--

5 学校図書館全体に関する自校の取り組みの評価（年度末に記載）

--

※各校作成の令和8年度「学校図書館年間計画」の添付をお願いします。